

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は定額法によっている。

(2) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	1,644,000	36,000	0	1,680,000
公益目的事業積立資産	6,300,000		700,000	5,600,000
記念事業積立資産	3,500,000	500,000	0	4,000,000
移転準備資金積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	16,444,000	536,000	700,000	16,280,000
合 計	16,444,000	536,000	700,000	16,280,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	1,680,000	0	0	1,680,000
公益目的事業積立資産	5,600,000	0	5,600,000	0
記念事業積立預金	4,000,000	0	4,000,000	0
移転準備資金積立資産	5,000,000	0	5,000,000	0
小 計	16,280,000	0	14,600,000	1,680,000
合 計	16,280,000	0	14,600,000	1,680,000

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,424,846	2,306,026	118,820
合 計	2,424,846	2,306,026	118,820